

**製品名: MIB1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13886**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	130kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MIB1
別名	MIB1 DIP1 KIAA1323 ZZANK2
遺伝子 ID	57534.0
SwissProt ID	Q86YT6
免疫原	アミノ酸配列範囲 901-950 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

**背景**

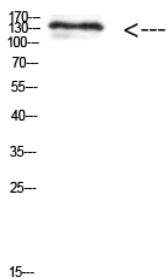
この遺伝子は、複数のアンキリンリピートと RING フィンガードドメインを含むタンパク質をコードし、E3 ユビキチンリガーゼとして機能する。コードされたタンパク質は、Notch 受容体をユビキチン化することで Notch シグナル伝達を正に制御し、それによってそ

これらのエンドサイトーシスを促進する。また、このタンパク質は、細胞死関連タンパク質キナーゼ 1 (DAK1) のユビキチン化と分解を促進する可能性がある。[RefSeq 提供、2013 年 6 月]、機能: Notch タンパク質のリガンドとして機能する Delta 受容体のユビキチン化を媒介する E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ。Delta の細胞内ドメインをユビキチン化することで、Delta を介した Notch シグナル伝達を正に制御し、Delta 受容体のエンドサイトーシスを促進する。 DAK1 のユビキチン化とそれに続くプロテアソーム分解を媒介し、それによって DAK1 の抗アポトーシス作用に拮抗して TNF 誘導性アポトーシスを促進すると考えられます。、その他: てんかん脳組織では、細胞質およびミクロソーム分画 (小胞体) での発現レベルが増加しています。、経路: タンパク質修飾; タンパク質ユビキチン化。、PTM: ユビキチン化。おそらく自己ユビキチン化を介して。、類似性: 1 つの ZZ 型ジンクフィンガーを含みます。、類似性: 2 つの MIB/HERC2 ドメインを含みます。、類似性: 3 つの RING 型ジンクフィンガーを含みます。、類似性: 9 つの ANK リピートを含みます。、細胞内局在: 細胞膜に局在します (類似性による)。 PubMed:15048887 によると、ミトコンドリアに局在するとされているが、その局在は不明である。、組織特異性: 低レベルで広範囲に発現している。脊髄、卵巣、全脳、そして検査されたすべての特定の脳領域で高レベルで発現している。、

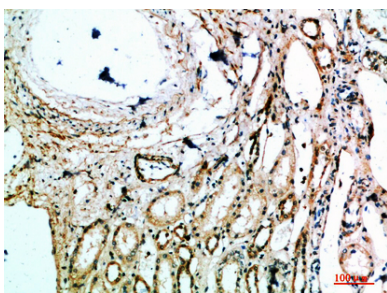
## 研究分野

シグナル伝達

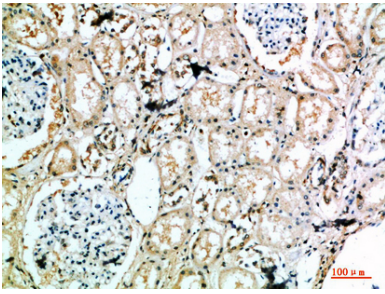
## 画像データ



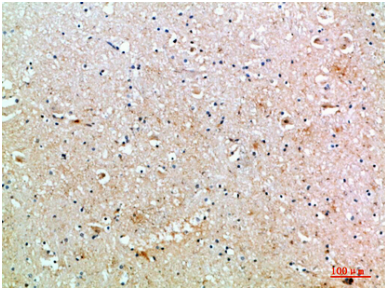
1000 倍希釈の抗体を用いた 293t 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



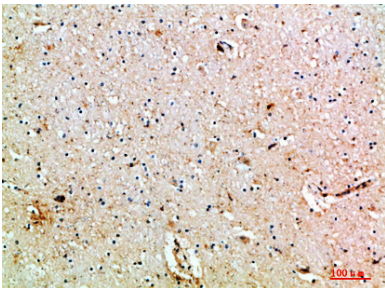
パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



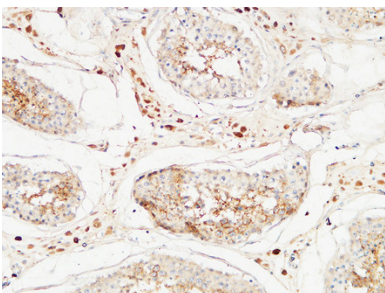
パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



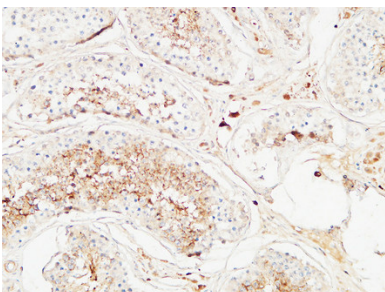
パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



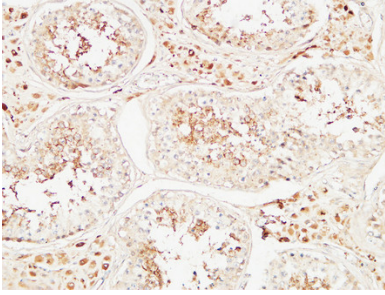
パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



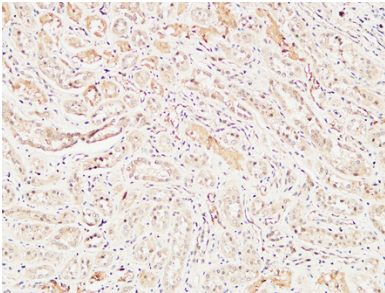
パラフィン包埋ヒト精巢の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト精巢の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。